

潮音寺だより

第 250 号
平成 16 年 8 月
電話 052-671-4831
ファックス 052-671-4856

<ホームページ> <http://www.ne.jp/asahi/choonji/hamo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1-10-11



【出典】善導大師『般舟讚』

罪過
過失
失態

とにかく
しくじつたら
謝りなさい

心底
詫びなさい

血涙を
流すほど
懺悔なさい

そして
南無阿弥陀仏

念仏を
称えなさい

お盆に

さる七月一日、中国の蘇州市で開催されたユネスコの世界遺産委員会において、熊野古道が、世界遺産として登録をされることになりました。

熊野古道というのは、熊野三山（熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社）に詣るための道であります。大自然の中にある、神々の住むといわれる聖地熊野へ、厳しい道を乗り越えて詣ること、来世の幸せを神々に託すという信仰により生まれた道ということでもあります。

明治政府による神仏分離政策以前においては、熊野本宮は阿弥陀如来、那智社は千手観音、速玉社は薬師如来が、それぞれの本拠とされていました。つま

り、仏・菩薩が衆生済度のために、仮の姿をとつてあらわれた（権現）とする、本地垂迹説が主流でありました。ですから、熊野古道は、極楽浄土にいるごき先祖に会いに、あるいは、諸々の祈願のために、あるいは、病氣平癒の願いの中から生まれた道でもあるといえます。

地元の経済効果の期待度が、ややヒートアップ気味なところは、少々気になるところではあります。が、一こういった、文化遺産を見直し、保護していこうという動きの高まりは、とかく指針を見失いがちである昨今、歓迎すべきことでもあります。

話はかわりますが、菅直人前民主党代表が、四国霊場へ遍路の旅に出ているとのニュースを

聞き、公式サイトをのぞいてみましたら、七月十五日付の日誌に「今日からしばらく旅にでる。この3ヶ月間、（中略）個人的にも政治的にも大きな出来事が続いた。今後何をやるにしても、その前に一度立ち止まって、自身を見つめなおす時間が必要。」とありました。

この四国霊場というのは、今からおおよそ千二百年前に、弘法大師空海が開かれた霊跡で、人間には、八十八の煩惱があり、八十八ヶ所の全霊場を巡ることによって煩惱が消え、願いが叶うとの信仰によるものです。

全行程約千四百五十キロ、四国を一周する巡拝は同行一人、つまり弘法大師と共に心身を磨き、大自然の中で生かされてい

る自分自身を見つめ直す修行の旅とされます。

こちらの遍路の道は、熊野古道のような文化遺産としてではなく、菅直人氏しかり、いろいろな人が、いろいろな思い、願いで、現在も絶えることなく歩き続けられている道であるといえます。

ともあれ、熊野古道にしても四国遍路の道にしても、神的なもの、霊的なもの、見えないものとの出会いを求め続ける中から生まれた道であります。道には、経済の道、工業の道、生活の道等々、実にさまざまな道がありましょが、人間には、見えないものとの出会いを求めるための道も、必要なのであります。

物事を合理的に考える人、た

とえば科学者などは、こういうた事象を冷たい目で見がちであると思っていました。ところが、先頃見たテレビ番組で、驚いた

ことがあります。あの発明王エジソンが、霊と交信する機械を作ろうとしていたといつのです。エジソンが、どんな思いでそのようなものを作ろうとしていたのか分かりませんが、興味深いエピソードではありませんか。

ところで、この夏も、全国津々浦々で、盆踊りが開催されます。有名なものでは、岐阜の郡上踊り、徳島の阿波踊り、沖縄のエイサー、身近なものでは、地元町内会のものやら、地元議員主催のものやら、商店街主催のものやら、さまざまあります。これら盆踊りは、親睦のため、票田の開

拓、客集めのため、あるいは、觀光化され、現在では、娯楽行事のようになっていきます。しかし、本来は、お互いの顔が分からないような薄暗い中で、霊たちと接触を持ったための踊りなのであります。その目的は、それぞれの家庭の盆棚で祖霊を迎え歓迎し、無縁の精霊にもすそ分けの施しをし、最後に、子孫やこの世の人とともに楽しく踊って、あの世に帰ってもらうためのものです。

このお盆、どうか、霊との出会いを大切にしていたいただきたいのです。指針を見失つていくとき、目に見えるものだけしか見えないものです。見えないものを見ようとしたとき、力が生まれます。先祖の霊は、なにがしかの力を与えてくださるはずですよ。

お盆の行事お知らせ

◎精霊お迎え

○平和公園墓地 8月12日 午前6時～正午

○潮音寺納骨堂 8月13日 午前6時～正午

◎棚経

一応、例年どおりをお願いいたします。

ご無理を願う場合があるかもしれません。その節はどうかよろしく。

◎盆施餓鬼会

8月19日(木)午後1時30分～2時30分

彼岸の行事お知らせ

◎彼岸施餓鬼会

9月23日(木)午後1時30分～2時30分

▼感謝

彩色灯明のご寄付を、伊藤尚和様・松村憲一様・江崎恒美様・



雑記

ご報告申し上げます。
募集
当山の、平和公園墓地

に、若干の空きが出来ましたので、次の要領で、石塔建設希望者を募ります。お申し出下さい。

祖をお迎え下さい。
▼網戸越し午睡の耳に
アブラゼミ 沐魚

山口康良様・澤登たきる様より頂戴いたしました。(順不同)

皆さまのお陰をもちまして、調達費用相整いました。心より感謝申し上げます。

◎墓地永代使用料 四〇万円
◎年間護持会費 五千円
なお、永代使用料は、契約時、護持会費は、毎年、八月十二日までにお支払いいただきます。

また、契約解消の必要が生じた場合には、更地の状態に戻していただき、お支払いいただいた永代使用料は、原則として返還いたしません。

住職通信

心(念)身一如の人生
心身の別れが死亡
心は経七七日に遺族の
供養にて仏に生きる



▼お盆

真菰のゴザ、茄子や胡瓜に苧殻の脚をつけた牛や馬、ご馳走など供え、ご先